

藍のたたき染めをしてみよう

藍染とは

藍染の方法には大きく分けて2つの方法があります。一つは、摘み取った藍の葉をそのまま使って染色する「生葉染め」。もう一つが、藍の葉を発酵させて濃い紺色に染色する「建て染め」です。「建て染め」は、発酵を伴うため管理が難しいですが、「生葉染め」は葉を摘み取ってすぐに行うことができます。

今回は「生葉染め」の一種「たたき染め」をご紹介します。

道具の準備

- ・ 染める布（化学繊維でないもの）
- ・ 藍の葉（なるべく若い葉）
- ・ たたく石やハンマー
- ・ すすぐ容器（洗面器など）
- ・ セロハンテープ
- ・ ラップ
- ・ 石鹼（アルカリ性）
アルカリ性の食器用洗剤でも OK

① 藍の葉を布に固定する



藍の葉の葉脈側が布の表面に接するように置き、テープで固定し、ラップをかけます。

若い葉のほうがキレイな色が出ます！

② 葉をたたく



葉の中心は縦に、そのほかの部分は外側から内側に向かって、ハンマーや石で葉をたたき、ラップと葉をはずし、少し乾かします。

③ 媒染液で洗う



必ずアルカリ性のものを使いましょう！
緑の部分が青色に発色します

容器に水を入れ、アルカリ性の石鹼を水が白くにごるまで溶かし、媒染液をつくります。

15分以上、強くこすらず、よく洗い、液を染みこませます。

④ すすぎ・乾燥



強く絞ると、模様がにじんでしまいます！
水がしたたるくらいでOK

媒染液をよく水ですすぎ、絞らずに、ぬれたまま、日陰で完全に乾くまで乾かします。